講義名	自己発見とキャリア開発Ａ(K51)					授業形態	
担当教員	山﨑　誠／井関　和恵／福岡　寿美子	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 １時限／前期 月曜日 ２時限／前期 火曜日 １時限／前期 火曜日 ２時限				
		単位数	8	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	FYE100

主題と概要

学部留学生として必要な基礎的かつ総合的な日本語力をつけることを目的とする。
日本語の文字、語彙、聴解、会話等を中心に学び、日本語の文章力およびコミュニケーション能力を高める。アクティブ・ラーニングを心がけたクラス活動を行うことを目指す。

到達目標

学部留学生が、基礎的かつ総合的な日本語力をつけ、日本語の文章力、聴解力、およびコミュニケーション能力を高めることができる。併せて、ポートフォリオが作成できる文字力・語彙力等の日本語力を高めることができる。学部留学生が、アクティブ・ラーニング等によるクラス活動を通して、総合的な日本語能力を高める必要があることに気づくことができることを目標とする。

提出課題

予習、復習、ワークシート等、授業中にその都度指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

質問がある場合は、その都度、回答に応じる。

評価の基準

課題の提出（50%）、授業参加度（50%）等による総合評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

課題を完成させ、しっかりと提出することを望む。真面目かつ積極的な授業参加を望む。
また、授業内で課題が指示されるので、確認の上、必ず提出すること。質問等がある場合は、メールなどで行う。

教科書

.使用しない.				

参考図書

.日本語総まとめ問題集N2文法.	佐々木仁子	ＡＳＫ	1320	978487217728
.日本語総まとめ問題集N2漢字.	佐々木仁子	ＡＳＫ	1320	978487217727
.日本語総まとめ問題集N2読解.	佐々木仁子	ＡＳＫ	1320	978487217764

その他

必要に応じてプリント資料を配布する。

授業計画

１週目：コミュニケーションキャンプ＊１週間のうちの（月）（火）or（水）（金）の２日間（各１・２時限）で。原則として、１日目は、文字（１時限）、聴解（２時限）、２日目は、語彙（１時限）、会話（２時限）を学習する。文字、聴解、語彙、会話の各内容は、以下に示す。＊２週目から15週目にかけての14週間は、各内容を変えて進めつつ、これらを繰り返す。16週目：ポートフォリオ作成
[文字]・よく見る表示や文書などを使って、漢字と漢字で書くことばを学習する。・サイン、駅、電車、バス、レストラン、地図、病院、自動販売機、携帯電話、申込書、注文、メール、　問診票、天気予報、求人広告等々の漢字について学ぶ。・漢字クイズ、漢字ゲーム等も行う。・外来語などのカタカナで書く言葉を体系的に覚える。
[聴解]・間違いやすい発音や文法などの基本的な聞き取り練習をする。聞き取りのパターンについて学ぶ。日常生活でよく聞くいろいろな場面や内容に関する表現について学習する。・発音、文法、会話表現、発話表現、即時応答、課題・ポイント・概要理解、町、天気予報、交通情報、学校、職場、病院、店、人や物の様子、場所・方向・位置、数字・計算、順序・比較等の聴解について学ぶ。
[語彙]・日常生活でよく使われて役に立つ語彙をトピックや使い方ごとに学習する。短い文や語句、イラスト等を使って効率よく学ぶ。・キッチン・リビング、料理、掃除、洗濯、計画、電車、したく、買い物、食事、お金、学校、仕事、パソコン、メール、関係、あいさつ、体調、意味や形が似ている・くり返し・組み合わせのことば、意味がたくさんある動詞等々の語彙について学ぶ。
[会話]・自己紹介、インタビュー、スピーチ、ディスカッション、ディベートや大学生活で覚えるべき表現(教員との会話、挨拶、依頼、お礼、謝罪など)について実践的に学ぶ。

第１回　コミュニケーションキャンプ
予習内容：大学から事前に配布された資料を読み、わからない日本語があれば調べておく。また、全体のスケジュールを把握して、当日の流れを理解する。当日持参するものを確認して準備をする。（480分）
復習内容：コミュニケーションキャンプで行った活動を振り返り、大切に感じたことや最後のまとめを確認する。そしてこれからの大学生活で活かせるように活動内容の理解を深めること（480分）
第２回　授業
予習内容：コミュニケーションキャンプで行った自己紹介の内容を改めて文章にしておく（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第３回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第４回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第５回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第６回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第７回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第８回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第９回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第10回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第11回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第12回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第13回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第14回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）
第15回　授業
予習内容：前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその準備をする（480分）
復習内容：授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授業内容の理解を深めること（480分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、日本語の 4 技能（聞く、話す、読む、書く）について実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考